

健常脳のデータベース構築

—「統合イメージングによる健常脳・脊髄機能解剖の包括的研究」にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「統合イメージングによる健常脳・脊髄機能解剖の包括的研究」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2014年5月16日～2019年5月14日までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「統合イメージングによる健常脳・脊髄機能解剖の包括的研究」の研究に参加された方
追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないよう

にした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介

国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男

東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター

所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆

電話番号 042-346-2206 (直通)

e-mail: hanakawa※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

健常脳のデータベース構築

—「漢字書字障害特異的脳内機能ネットワーク の解明と治療法開発」

にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「漢字書字障害特異的脳内機能ネットワークの解明と治療法開発」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2018年6月1日～2019年5月31日（倫理審査承認日）までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「局漢字書字障害特異的脳内機能ネットワークの解明と治療法開発」研究に参加された方

追加する研究計画の概要

取得させていただいた MRI データ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男
東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206 (直通)
e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

健常脳のデータベース構築

—「ストレス関連疾患の疾患横断的な バイオマーカー検索のための脳 MRI 研究」

にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「ストレス関連疾患の疾患横断的なバイオマーカー検索のための脳 MRI 研究」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2016年2月10日～2019年6月30日（倫理審査承認日）までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「局ストレス関連疾患の疾患横断的なバイオマーカー検索のための脳 MRI 研究」研究に参加された方

追加する研究計画の概要

取得させていただいた MRI データ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男
東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206 (直通)
e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

健常脳のデータベース構築

— 「①MRI 安静時機能結合と脳構造測定によるパーキンソン症候群の病態解明と診断補助法の開発 ②安静時機能結合MRIによる神経疾患の病態解明と診断補助法の開発」にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「MRI 安静時機能結合と脳構造測定によるパーキンソン症候群の病態解明と診断補助法の開発」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

①2019年3月19日まで ②2020年3月31日までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医

療研究センター病院で「MRI 安静時機能結合と脳構造測定によるパーキンソン症候群の病態解明と診断補助法の開発」の研究に参加された健常の方

追加する研究計画の概要

取得させていただいた MRI データ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男
東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206 (直通)
e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

健常脳のデータベース構築

—「コンピュータープログラミング学習の神経基盤に関わる基礎的研究」にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「コンピュータープログラミング学習の神経基盤に関わる基礎的研究」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2017年7月28日～2019年11月1日（倫理審査承認日）までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で大妻女子大学との共同研究の「コンピュータープログラミング学習の神経基盤に関わる基礎的研究」に参加された方

追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男
東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター

所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆

電話番号 042-346-2206（直通）

e-mail: hanakawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

* 健常脳データベース構築に関する問い合わせは上記にお願い致します。

共同研究機関

大妻女子大学

所属 社会情報学部 情報デザイン専攻 氏名 本郷 健

電話番号 03-5275-6973（直通）

e-mail: t_hongo※otsuma.ac.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

大妻女子大学 総務センター 研究支援室

e-mail: kenkyus※ml.otsuma.ac.jp（「※」を「@」に変更ください。）

健常脳のデータベース構築

—「局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明」にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2017年2月24日～2020年5月22日（倫理審査承認日）までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「局所性ジストニアの病態に関連する脳内神経基盤の解明」研究に参加された健常群の方

追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介

国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男

東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター

所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆

電話番号 042-346-2206（直通）

e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

健常脳のデータベース構築

— 「鶏肉に含まれる高機能ジペプチドを用いた中高齢者の
心身健康維持に関する脳 MRI 研究」

にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「鶏肉に含まれる高機能ジペプチドを用いた中高齢者の心身健康維持に関する脳 MRI 研究」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2016年3月31日までに国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「鶏肉に含まれる高機能ジペプチドを用いた中高齢者の心身健康維持に関する脳 MRI 研究」研究に参加された方

追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISSないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男
東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206（直通）
e-mail: hanakawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

健常脳のデータベース構築

「Parkinson 病及び Alzheimer 病ディメンジョンを 対象とした包括的神経画像研究」

にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願いー

「Parkinson 病及び Alzheimer 病ディメンジョンを対象とした包括的神経画像研究」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2018年11月8日～2020年8月11日（倫理審査承認日）までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「Parkinson 病及び Alzheimer 病ディメンジョンを対象とした包括的神経画像研究」研究に参加された健常群の方
追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISSないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男
東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206（直通）
e-mail: hanakawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail: ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

健常脳のデータベース構築

—「脳波ブレインマシンインターフェイスの 運動関連疾患への応用」に

ご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「脳波ブレインマシンインターフェイスの運動関連疾患への応用」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2017年6月6日～2020年8月11日(変更申請承認日)までの間に、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターで「脳波ブレインマシンインターフェイスの運動関連疾患への応用」の研究に参加された方

追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳

画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介

国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男

東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター

所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆

電話番号 042-346-2206（直通）

e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

健常脳のデータベース構築

「ニューロフィードバックを用いた運動障害疾患の新規治療戦略の構築に向けた探索的研究」

にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い

「ニューロフィードバックを用いた運動障害疾患の新規治療戦略の構築に向けた探索的研究」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2017年3月31日までに国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「ニューロフィードバックを用いた運動障害疾患の新規治療戦略の構築に向けた探索的研究」研究に参加された方

追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISSないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男
東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206（直通）
e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

健常脳のデータベース構築

「統合的神経イメージング法を用いたヒトの周期運動特性とその神経基盤に対する理解」

にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い

「統合的神経イメージング法を用いたヒトの周期運動特性とその神経基盤に対する理解」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2019年3月22日までに国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「統合的神経イメージング法を用いたヒトの周期運動特性とその神経基盤に対する理解」研究に参加された方
追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、

さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男
東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206（直通）
e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

健常脳のデータベース構築

—「運動訓練と非侵襲電気刺激による局所性ジストニアの病態生理の解明」

にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「運動訓練と非侵襲電気刺激による局所性ジストニアの病態生理の解明」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2019年2月25日までに国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「運動訓練と非侵襲電気刺激による局所性ジストニアの病態生理の解明」研究に参加された健常群の方
追加する研究計画の概要

取得させていただいた MRI データ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男
東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206 (直通)
e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

健常脳のデータベース構築

—「脊髄小脳変性症患者におけるMRIを用いた脳画像と運動学習能力との関係」

にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「運動訓練と非侵襲電気刺激による局所性ジストニアの病態生理の解明」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2016年06月27日～2021年03月24日までに国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「脊髄小脳変性症患者におけるMRIを用いた脳画像と運動学習能力との関係」研究に参加された健常群の方

追加する研究計画の概要

取得させていただいたMRIデータ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、

さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないようにした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介
国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男
東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年 3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター
所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆
電話番号 042-346-2206（直通）
e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局
e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

健常脳のデータベース構築

—「安静時機能結合 MRI による神経疾患の病態解明（第二期）」

にご協力いただいた皆さまへ研究計画の追加に関するお知らせとお願い—

「運動訓練と非侵襲電気刺激による局所性ジストニアの病態生理の解明」へのご協力ありがとうございました。このたび以下の研究へご協力をお願いしたく、研究計画の一部について追加・変更申請を行いましたので、説明を申し上げます。本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【研究計画名】 健常脳のデータベース構築

【研究責任者】 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター 先進脳画像研究部 花川 隆

【本研究の目的及び意義】

現在、様々な精神・神経疾患に関して、脳の構造や機能という観点からの理解が急速に進んでいますが、その疾患ごとの特徴をより正確に理解するためには、特定の精神・神経疾患を持つ患者さまの脳と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳を比較することが必要不可欠です。従って、健常者さまの脳画像データは、さまざまな疾患を対象にしている研究で共通して必要な研究データであるため、各研究が共有して用いることができると、非常に経済的で効率的に研究を推進することができます。しかし、現時点では、各研究で共通に用いることができる健常者さまの脳画像のデータベースがなく、研究ごとに疾患を持つ患者さまの脳画像と、それらの疾患を持っていない健常者さまの脳画像を新たに撮像して研究を実施しております。そこで、本研究事業では、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築することを目的としています。

【本研究の実施方法及び参加いただく期間】

対象となる方

2020年2月21日～倫理承認日までに国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター病院で「安静時機能結合 MRI による神経疾患の病態解明（第二期）」研究に参加された健常群の方
追加する研究計画の概要

取得させていただいた MRI データ、神経心理学検査は完全に個人を識別できないようにした上で、さまざまな疾患を対象にした研究を推進する上で共通して使用することができる、健常者さまの脳画像のデータベースを構築するために利用させていただくことを追加します。

なお、新たに付された符号との対応表を残さない匿名化により、完全に個人を識別できないよう

にした上で、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）脳病態統合イメージングセンター（IBIC）IBISS ないしこれが指定する機関によって管理と運営が実施されるデータベースに登録されます。

研究期間

2018年08月03日から2024年3月31日まで

【共同研究機関】

京都大学 大学院 医学系研究科 鶴身孝介

国際電気通信基礎技術研究所 川人 光男

東京医科歯科大学 大学院 精神行動医科学 高橋 英彦

2021年 3月

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 脳病態統合イメージングセンター

所属 先進脳画像研究部 氏名 花川 隆

電話番号 042-346-2206 (直通)

e-mail : hanakawa※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)